

# 特別支援教育ICT活用プロジェクト研究

特別支援学校における自分らしい生き方の実現に向けた取組  
—ICT活用による児童生徒の思いや願いを叶える実践を通して—

滋賀県総合教育センター

NPO法人 支援機器普及促進協会

理事長 高松 崇

# 自己紹介

# 主な活動と経歴

## ●本年度

京都市教育委員会 総合育成支援課 専門主事

京都府 特別支援教育京都府専門家チーム(宇治支援学校SSC)

NPO 支援機器普及促進協会 理事長

## ●昨年度以前

京都市 呉竹総合支援学校・東総合支援学校 特別非常勤講師

京都市 携帯電話市民インストラクター

京都市 ICT活用支援員 (総合支援学校ICTコーディネーター)

京都市 総合育成支援員 (発達障害児支援)

京都市 精神障害者授産施設 京都市朱雀工房 統括職業生活支援員

京都市 地域若者サポーター (引きこもり支援)

京都府教育委員会 社会教育委員

京都府高等技術専門校 在職者訓練インストラクター

中小企業基盤整備機構 経営改善アドバイザー

# 私も、京都府立向日が丘支援学校 高等部2年生の三男がおります

18番テトラソミー

140,000人に一人という非常に出生率の低い染色体異常（18番染色体が4本ある病気です）の我が子と同じ障害のある方々との情報交換の場になってほしいと思いつくりました

## 18テトラソミーの子の成長

140,000人に一人という非常に出生率の低い染色体異常（18番染色体が4本ある病気です）の我が子と同じ障害を持つ方々との情報交換の場になってほしいと思いつくりました

2014-12-27 13:54:33

テーマ：成長記録

12月7日にはお母さんと一緒に  
SL北びわこ号（米原から木ノ本）にも乗ってきました  
梅小路機関車館のSLとは違い、40分の自然の中を走ったそうです

プロフィール



プロフィール | なう | ピダの部屋

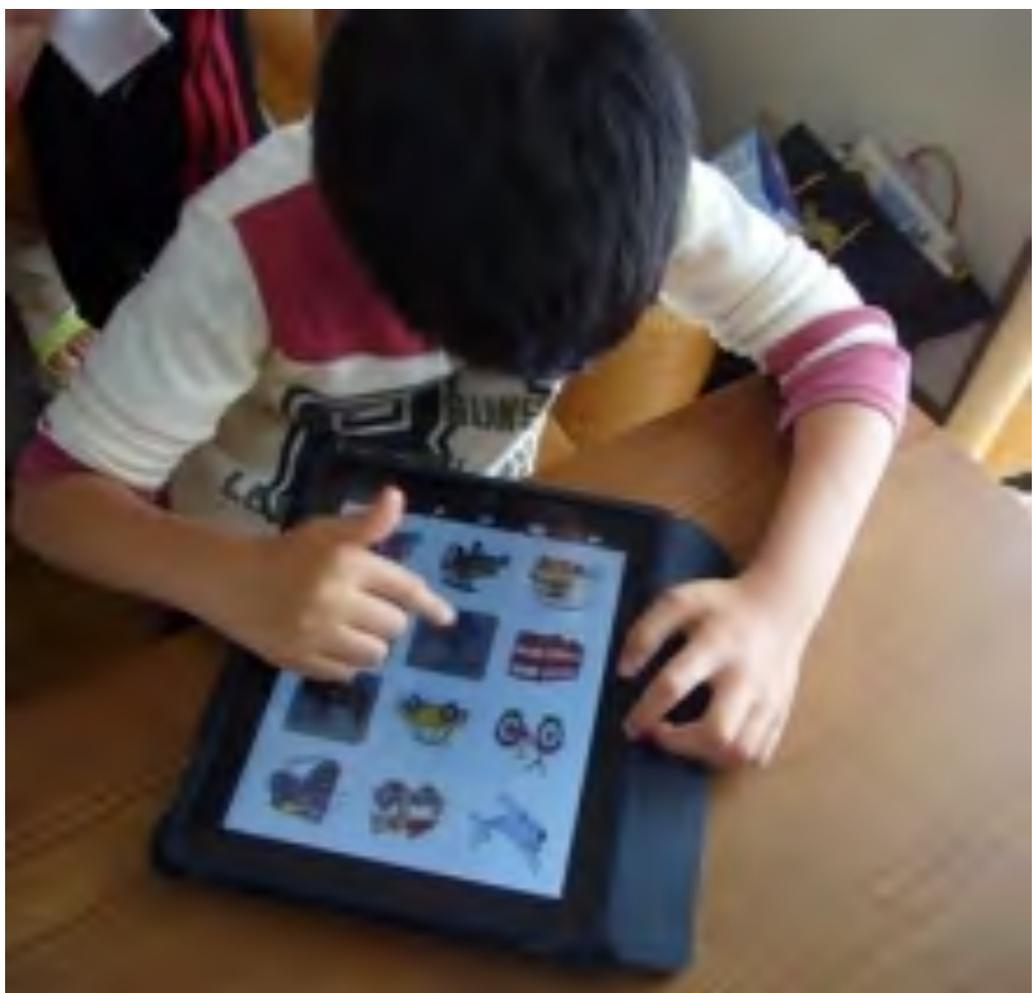
ニックネーム：menis18

性別：たかちゃん

自己紹介：

18番テトラソミーという遺伝子障害は非常に



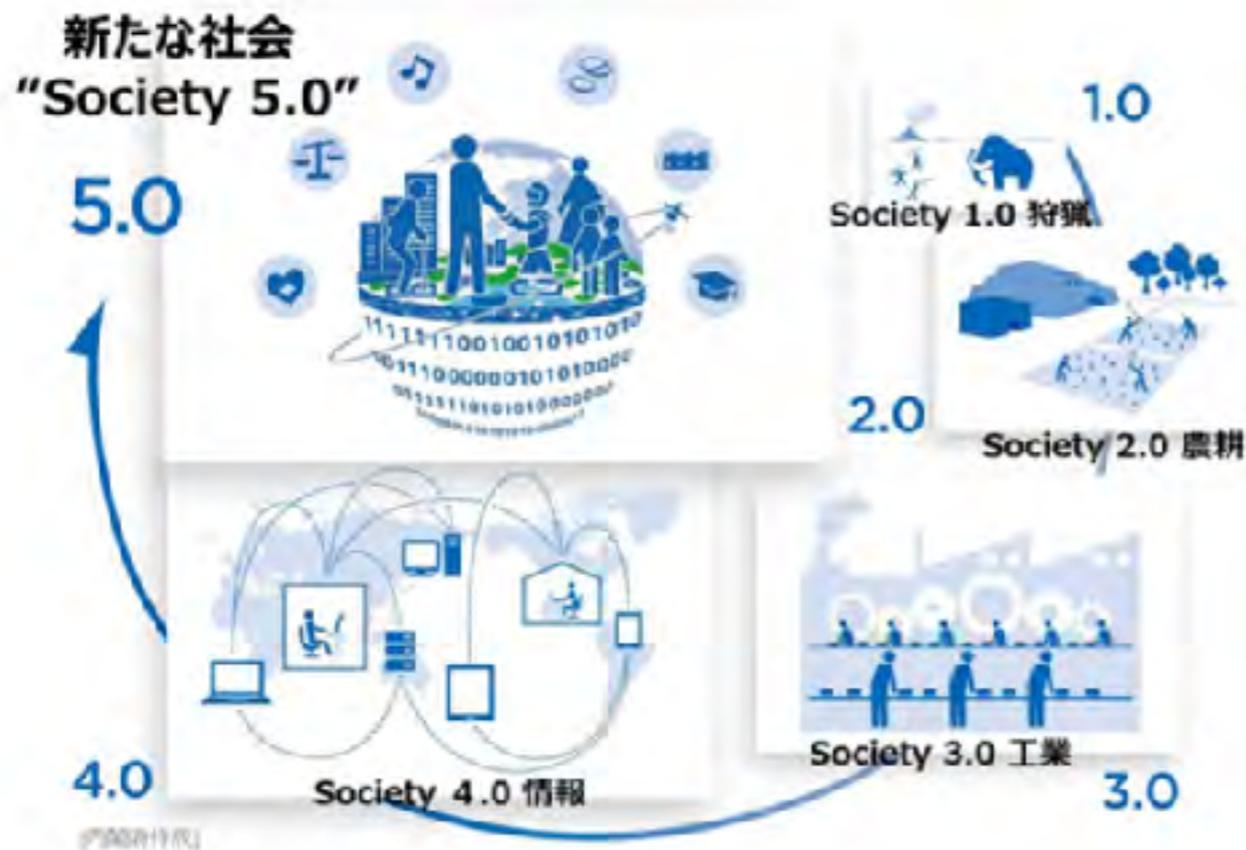


Society5.0  
新しい生活様式  
GIGAスクール  
って何?!

# Society5.0(ソサエティ5.0)未来の日本の姿

学校現場って  
Society ?????

# 新たな社会(Society 5.0)って?!



狩猟社会 (Society 1.0)  
農耕社会 (Society 2.0)  
工業社会 (Society 3.0)  
情報社会 (Society 4.0)

地域 > 東京 > 記事

2020年08月15日

新聞宅配申し込み

デジタル申し込み

おすすめ 694

ツイート

BI O

印刷

メール

西田の輝く教育

## インタビュー（10）井上賞子さん



井上賞子さん

拡大

### ◆松江市立意東小学校教諭

「この子、できるくせにやらないんです」――。先生たちからこんな悩みを聞きます。本当ですか。「できる」を疑ってください。

かつて、授業中に好きな本ばかり読んでいる子がいました。試験は高得点。ところが中学は勉強でつまずき、読むことに困難があるとわかりました。文章を読む時に一部しか認知できないから、同じ本を何度も読んでいた。理解力が高いので小学校は推測で解答できたけれど、中学はそうはいかなかった。でも音声読み上げを使ったらず

っと入っていきました。「できる」と思いこまれて、支援がスタートしなかったんです。

逆に「できないから参加しないのでは」という言葉も聞きます。この「できない」も、疑ってください。

算数の問題をやらせようとする、教室を飛び出す子がいました。担任からは「四

### 大阪ダブル選、動画で解説

維新の2氏が勝利。動画で徹底解説します。



注目の有料ニュース

デジタル限定

1食あたり  
568円(税込)  
頼めば  
頼むだけ  
お得に!

### 注目情報



#### わが家、意外と高いかも？

適正価格がわかる<不動産査定>で  
自宅の価格を【無料】チェック！



#### 「オンライン接客」の秘訣

コロナ禍に昨年対比プラスの売上  
高い支持を集める地方企業に迫る

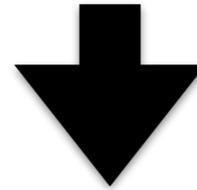


#### 50代から考えたい相続

相続の準備を今から始める

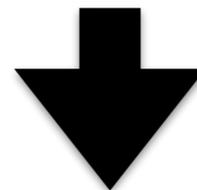
目の前の子が学習の壁を乗り越えるには何が課題で、何が必要か。  
**アセスメント**をしっかりとして、いろいろな**選択肢を示す**ことが、教師  
に求められているのではないのでしょうか。

「この子、できるくせにやらないんです」——。  
先生たちからこんな悩みを聞きます。本当ですか。  
「できる」を疑ってください。



「できる」と思いこまれて、支援がスタートしなかったんです。

逆に「できないから参加しないのでは」という言葉も  
聞きます。この「できない」も、疑ってください。



「能力的な問題」と思われたことで支援方法が検討されなかったんです。

思い込みではなく、「この方法ならできる」という手立てを一緒に探し、伴走し、課題解決できる体験を繰り返させ、「その子の学び方」を手渡すことこそが教師の役割です。

その際に一番大切なのは、その子自身の「自分の学び方」への誇りと納得。「劣っているから人と違う方法ではなく、自分の力を発揮するためにこの方法が必要だ」と思えることが重要です。

国のGIGAスクール構想で、端末配備が「1人1台」になる時代も近づいています。読み書きなどに困難のある子には、どの学校でも、どの子でも、ICT(情報通信技術)という手立てが使える環境が整うことは朗報です。

よく端末を眼鏡にたとえ「眼鏡のように使えれば」といわれてきました。でも本当に大切なのは、その子にあった眼鏡にする調整です。

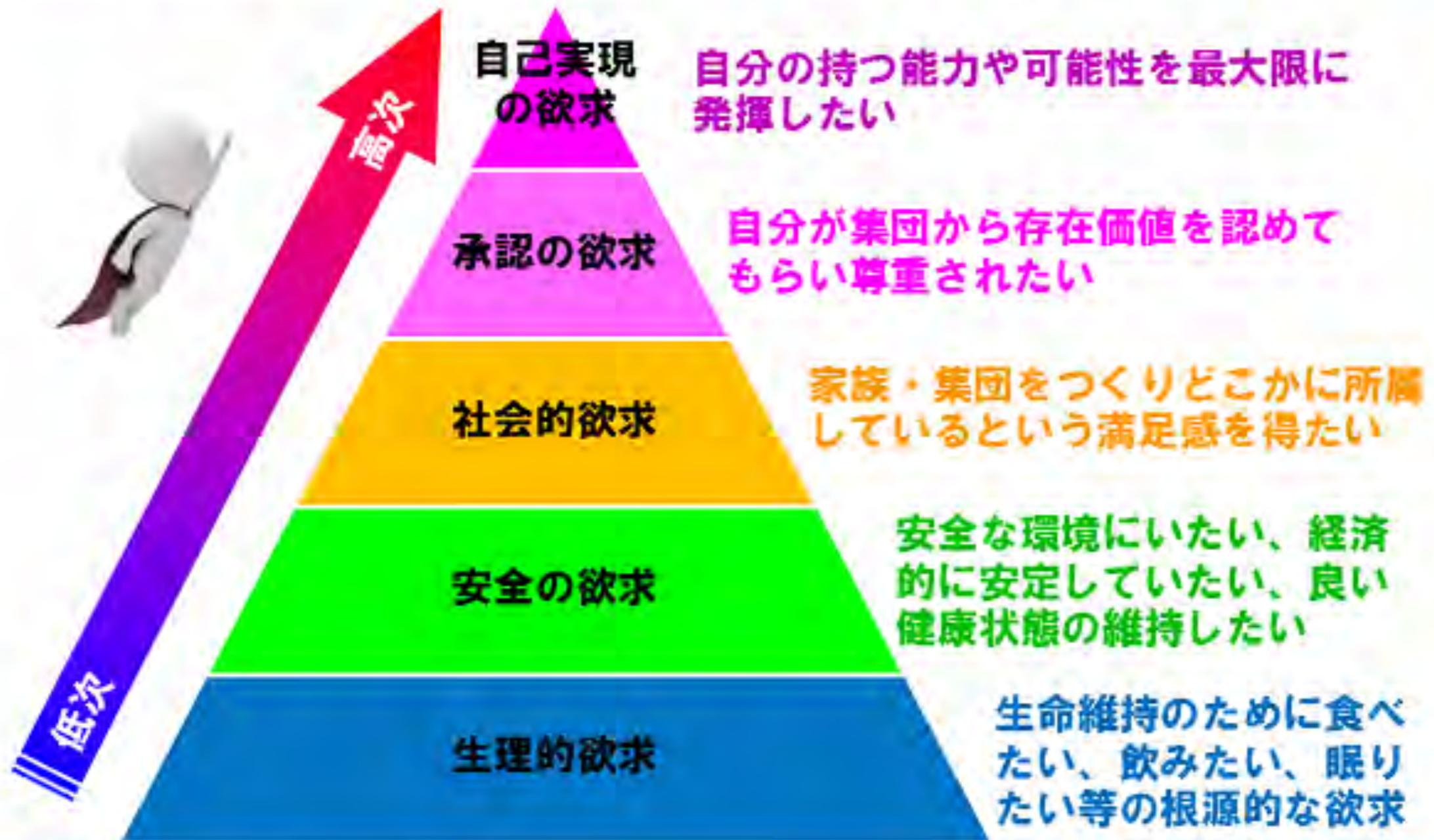
端末も、渡せば全て解決する道具ではありません。

# 主体性 マズローの欲求の5段階

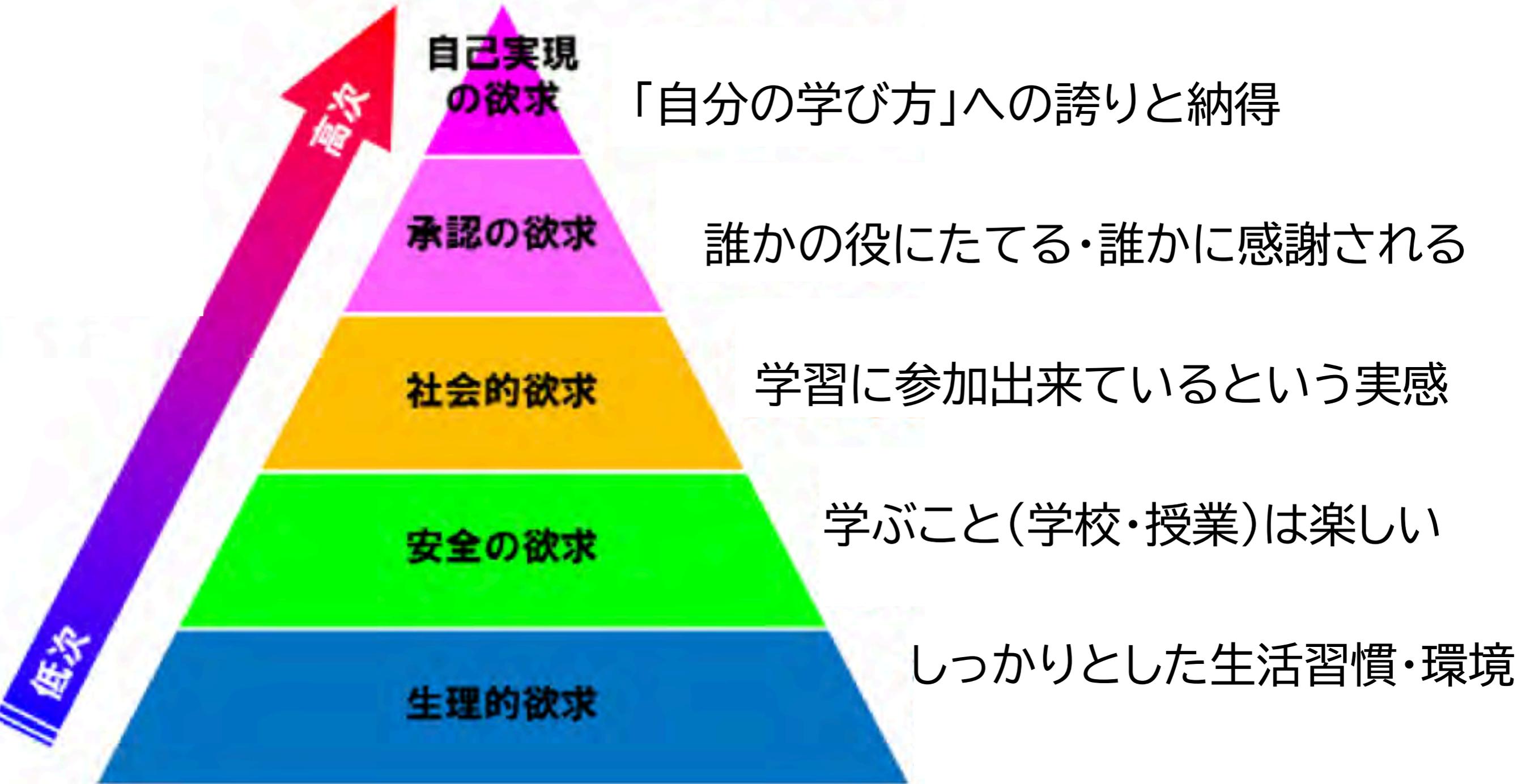
## 2. 欲求の5段階とは？



▶▶▶ 人間の欲求は、下位の欲求が満たされると上へ上がっていく。



# 学校現場における欲求の5段階



# マルチプル・インテリジェンス

子育てや教育現場でも有効 「個性」に適した学習アプローチ  
ハーバード大学教育学大学院教授で、心理学の世界的権威であるハワード・ガードナー教授が、授業や研修での座学といった一般的なものにとらわれない、学習法を提唱しています。これが「個性」に適した学習アプローチです。

ハワード教授は、従来のIQテストに異議を唱え、人にはいくつもの多重な「知能MI（マルチプル・インテリジェンス）」があると主張しました。MI理論によると、人間は普段「8つの能力」を働かせて生活しているといっています。これらの中でも特に秀でている部分や得意分野があり、8つの能力を見極め、個性に適したアプローチで学習をすると、人は才能を大幅に伸ばすことができるといっています。

## ハワード・ガードナー教授が提唱する8つの知能MI

- |   |                       |                            |
|---|-----------------------|----------------------------|
|    | <b>言語能力</b>           | 話し言葉、書き言葉への理解力や感受性が高い      |
|    | <b>論理的<br/>数学的能力</b>  | 論理的思考。数が規則性、予測が得意          |
|    | <b>空間能力</b>           | 絵画が得意。視覚的・空間的なクリエイティビティがある |
|  | <b>身体・<br/>運動能力</b>   | 運動能力が高い。身体を自由にコントロールできる    |
|  | <b>音感能力</b>           | リズム感・音感が優れている。音楽への感受性が高い   |
|  | <b>人間関係<br/>形成能力</b>  | 人との関わり合いが好き。グループワークが得意     |
|  | <b>自己観察・<br/>管理能力</b> | 自立心・決断力がある。独自のやり方を見出す      |
|  | <b>自然との<br/>共生能力</b>  | 環境・自然・動物に関心が高い。アウトドアが好き    |

# STEAM教育

Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)を統合的に学習する「STEM教育(ステムきょういく)」に、さらにArts(リベラルアーツまたは芸術)を統合する教育手法

生徒児童の数学的、科学的な基礎を育成しながら、彼らが批判的に考え(批判的思考)、技術や工学を応用して、想像的・創造的なアプローチで、現実社会に存在する問題に取り組むように指導する。またSTEAM教育の具体的な手法としては、デザインの原則を活用したり、創造的な問題解決を奨励することなどが挙げられる。



# SDGs(持続可能な開発目標)

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



### これからの社会で求められる力

ワクワクできる好きなこと

学び続ける力

やり抜く力

特別支援教育の目標:

自立と社会参加

創造性・表現

情報活用能力

当事者意識

#### 21世紀型スキル

創造性  
課題解決力  
批判的思考力  
コミュニケーションと  
コラボレーション

### SAMRモデル



まとめ

ICT機器に子ども達を  
合わせる

のではなく

子ども達に

ICT機器をあわせる

アセスメント

(思い込みではなく見立て)

と

エビデンス

(主観的ではなく客観性)

**Society 5.0の時代  
を生きていく子どもたち**



ATDS

*Assistive Technology Dissemination Society*

NPO法人支援機器普及促進協会

<http://npo-atds.org>

<https://www.facebook.com/takamatsu.takashi>